

実習内容
ならびに
スケジュール

皮膚科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	イントロ・外来実習	金澤	9:00	新病院5階皮膚科外来
	アレルギー外来実習	金澤	13:00	新病院5階皮膚科外来
	臨床写真500問①	自習（秘書）	14:00-15:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
火	手術見学	神戸/尼木	8:45	急性医療総合センター4階 手術センター
	病棟回診	金澤/神戸	14:30	8号館6階皮膚科カンファレンス室
	病棟・ダーモ・手術症例検討会	神戸/尼木	15:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
水	外来実習	神戸	9:00	新病院5階皮膚科外来
	臨床写真500問②	自習	14:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
	レポート準備			
木	外来実習	村田	9:00	新病院5階皮膚科外来
	略語解説	金澤	14:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
	新規薬疹症例検討	宮川	15:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
	皮膚科クルズス（にきび）	黒川 (ビデオ講義の場合は自習)	16:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
金	レポート準備			
	レポート発表	宮川	14:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室
	皮膚科臨床病理検討会	村田/石原	15:00	8号館6階皮膚科カンファレンス室

◎ 診療科名： 皮膚科

◎ 責任者氏名： 金澤 伸雄 主任教授

◎ 指導教員氏名： 神戸 直智 准教授、宮川 史 講師、村田 光麻 講師、
尼木 麻実 助教、石原 朋典 助教、
黒川 一郎 臨床教育教授（明和病院皮膚科）

◎ 実習概要

1.検討会（病棟患者・手術症例・臨床病理）、2.外来実習（初診・再診）、
3.クルズス（臨床写真・薬疹・ざ瘡）、4.手術見学、5.レポート作成などを行
い、皮膚疾患の的確な診断と治療方針立案の習得を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- 発疹学の医学用語を用いて、正しく皮膚症状を伝えることができる。
- 主要な皮膚疾患について診断ができる。
- 主要な皮膚疾患の病態を理解し、説明できる。
- 皮膚疾患患者に対する基本的な問診、診察が実施できる。
- 皮膚疾患の基本的な検査、治療法を理解し、実施できる。
- 皮膚疾患の治療計画を立てることができる。
- 患者の社会的、心理的側面を理解し、患者の立場に立った対応ができる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- 3年次の講義資料、皮膚科参考書の内容をよく復習しておくこと（2日）
- 皮膚科領域の国家試験過去問を解いておくこと（3時間）

◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーションについて 1 点から 5 点で評価。

【知識】

点数	基 準
5	非常に優れている。
4	やや優れている。
3	標準的である。
2	やや不十分である。
1	全く不十分である。

【態度（積極性）】

点数	基 準
5	非常に優れている。
4	やや優れている。
3	標準的である。
2	やや不十分である。
1	全く不十分である。

【コミュニケーション】

点数	基 準
5	非常に優れている。
4	やや優れている。
3	標準的である。
2	やや不十分である。
1	全く不十分である。

【評価補足】

実習中以下の評価を行う。
レポート発表 mini-CEX

◎ 中間評価とフィードバック

実施しない。

◎ 注意事項

- ・実習前に、Moodle にアップロードされている「皮膚科臨床実習前の手引き」と「問診の心得」をダウンロードし、内容を確認してしっかり予習しておくこと。
- ・外来実習は9時00分までに、皮膚科外来に集合すること。
- ・必ず3年次の講義資料、参考書を持参すること。
- ・実習は、必ずしも時間通りに開始・終了するとは限らないことを承知しておくこと。
- ・午後の検討会、クルズスなどは、開始時間など各指導教員に予め確認しておくこと。
- ・実習期間中の休日は、各自自習とする。

<実習ローテーションについて>

通し番号	実習ローテーション
1、2、3	皮膚科（1 週間）⇒ 泌尿器科（1 週間）⇒ 脳神経内科（2 週間）
4、5、6	泌尿器科（1 週間）⇒ 皮膚科（1 週間）⇒ 脳神経内科（2 週間）
7、8、9	脳神経内科（2 週間）⇒ 皮膚科（1 週間）⇒ 泌尿器科（1 週間）
10、11、12、13	脳神経内科（2 週間）⇒ 泌尿器科（1 週間）⇒ 皮膚科（1 週間）